

岩屋だよりー 8号

2012年(平成24年)6月吉日

うっとうしい梅雨の季節です。

間もなく明けるような気もしますが、昭和32年の諫早大水害あるいはちょうど30年前の長崎大水害のように、梅雨末期に梅雨前線から伸びる「湿舌」という現象による大雨が発生しないよう祈るばかりです。

去る5月16日(水)日本合気道連盟の会長であり、また熊本市内の豊心館代表の豊田 駿一氏が、ちょうど翌日に長崎での仕事があるということでタイミングが合い、北星館で指導をしていただきながら、交流の楽しい一時を過ごしました。

毎週水曜日は稽古に参加する会員が少なく、筆者自身も水曜日はほとんど稽古に来てないにもかかわらず、主な会員に声をかけたところたくさんの方が顔を出してくれました。

- ・ 稽古11名、見学平井さん
- ・ 稽古終了後岩屋中学校前の「浜谷食堂」にて、稽古後所用のため帰宅した福田さんを除き、こちらには見学の平井さんも顔を出してくれて、会員11名で豊田さんを囲んで楽しい一時を過ごしました。

また、祐気会(諫早・島原道場)の宮原・今村両氏も稽古に引き続き懇親会も最後まで付き合ってくださいました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

稽古の詳細内容は、各人でいろいろ豊田さんらから指導を受けて感じることもあるでしょうから、ここでは割愛しますが、それを糧として当日稽古に来ることができなかった会員に対しても、特に今回は普及連盟の会長という立場の豊田さんの指導でしたので、是非お伝え願います。



(夜遅くまで、浜谷食堂での合気道談義に花が)

6月10日(日)、稽古終了後道場にて北星館の年1度の通常総会を開催しました。

・参加者(敬称は略・順不同)

浜田、村里、吉田強、平井、笠井、田中一、田中侑、市川、森脇、森脇愛
中野、川口、窪田、吉居、古屋、大平、福田、田中、若杉、野瀬の計20名
(委任状)松尾、川上

よって、一般会員の過半数参加で、総会は成立

議題は、すべて原案どおり可決しました。詳細は略

会計の方、監査の方それに資料等作成の方々、特にご苦勞様でした。承認された24年度事業計画及び予算に基づき、適正かつ公平な道場運営について、引き続き会員各位のご協力をよろしくお願いします。

20名のうち、都合のついた16名が北星館の指定食堂「浜谷食堂」での懇親会に参加しました。浜谷さん親子様、いつも大勢で押しかけるのにもかわらず、笑顔で美味しいお料理等ふるまっていたいただき感謝します。

浜谷クン、もうすぐ甲子園の県予選ですね、後輩の球児らにエールを!

(彼は南山高校3年の夏、抜群の脚力を活かすスタメン外野手で甲子園出場)

天空の彼方へ!

5月は日本中、また筆者にとってもこれほどこの言葉が心に響いたのははじめてではなかったでしょうか。

5月20日(日)両国国技館で開催された大相撲夏場所千秋楽で、1909年(明治42年)に現在の優勝制度が制定されてからは、最年長37歳8ヶ月の旭天鵬が、これも史上初となる平幕同士の優勝決定戦で栃煌山を破って初優勝、モンゴル出身力士の先陣を切って20年前に初土俵を踏んで以来で、まさに感涙の、テレビ画面上の「天」にも昇るようなさわやかな笑顔が印象的でした。

翌21日には、我が国では1987年沖縄で観測以来、25年ぶりの金環日食が観察できました。あいにく本県は曇天模様でしたが、皆思い思いの色のついた観察用のメガネで天を仰いでいました。

そして、22日には電波塔としては世界最高634mの東京スカイツリーがまさに「天」に向かって聳えるように開業しました。

この塔が東北地方などで大震災や原発事故に遭われた方々、そして日本の再生の象徴になることを願うばかりです。